

令和5年度 選者献詠俳句

選者名	献詠句
稲畑廣太郎	芭蕉忌や瀬音翁の世を奏で
井上 弘美	翁忌の露を納めむ玉匣
小川 軽舟	蓑虫に耳澄ます空なつかしき
小澤 實	翁の忌去りたる洒堂うらまずや
櫛 未知子	月光は猫の細道照らしけり
坂口 緑志	百地家の墓は崖の上蟻地獄
西村 和子	しぐるゝや旅鞆より手沢本
長谷川 櫂	けふこゝに花ある人と月仰ぐ
星野 椿	芭蕉忌は日本の文化盆の月
堀本 裕樹	風に声もとめ行くなり翁の忌
正木ゆう子	竜天に登るうろこかはなびらか
三村 純也	新蕎麦を待つ間の灘の生一本
宮坂 静生	しぐれ来て荒び心地の伊賀が好き
宮田 正和	翁忌の山よく晴れて伊賀盆地
片山由美子	露けしや遠きものみな輝きて
Hidetake Kawaraji 河原地 英武	a flock of clouds remain immobile late summer 一群れの雲動かざる晩夏かな